

2018年度 (2018年4月からの)

2018年度 (2018年4月からの) 中3生・中2生 対象

今すぐ受講スタートできます!

数学特待制度

数学特待制度

●要項

1. 対象

高0生(2018年度 中3生・中2生)のうち成績基準を満たす意欲ある生徒
※中高一貫校生、公立中学校生どちらでも可。

2. 特待内容

- ① 数学通期講座(90分授業×20回ほか)
(通常 75,600円) → **無料**
高1で数Ⅲまで修了します。そのために必要な通期講座の受講料は、すべて無料です。
- ② 高速マスター講座 基礎力養成「数学計算演習」
(通常 75,600円) → **無料**
- ③ 入学金(通常 32,400円) → **10,800円**
- ④ 担任指導費・模試費(通常最大計 43,200円) → **無料**

3. 成績基準 以下のいずれかの基準を満たす生徒

- 1) 通知表(通信簿)の直近の評価で
数学が5段階評価の「5」であること
- 2) 「全国統一中学生テスト」もしくはその他模試にて、
成績優秀であること
中高一貫校に通っている場合、個別にご相談に応じます。
お気軽に校舎にお問い合わせください。

●申込方法

以下の3つの方法で申込できます。
来校の際、成績基準を満たすことを証明する書類をお持ちください。

- ① 校舎に直接
- ② スマホから ※タブレットも可
- ③ PCから



お近くの校舎はウェブサイトの校舎案内でご確認ください。車前にお電話・ウェブからご予約いただく、校舎でお待たせさせていただきます。

予備校界随一の實力講師陣 (数学)



申込受付中

(今すぐ受講スタートできます)

▶「数学特待制度」で受けられる講座例

以下をはじめ、東進の数学の通期講座80講座以上から選べます。

- 高校数学を、単元別に基礎から一気にマスターしたいなら**
高等学校対応 数学Ⅰ・A・標準
大岩 巧馬(大岩 明夫)
- 数学Ⅲにいち早く取り組みたいなら**
高等学校対応 数学Ⅲ-基礎
河野正人(河野 明夫)
- 大学入試レベルの数学に挑戦したいなら**
受験数学Ⅰ・A/Ⅱ・B(応用)
松田 聡平(松田 聡平)

※高校受験対策講座の設置はございません。

数学Ⅱを先取りでマスターしたいなら
高等学校対応 数学Ⅱ-標準
荒田 昌彦(荒田 昌彦)

東大、京大、国立医学部などの難関大レベルを目指すなら
数学ぐんぐん【基本編】
河野 明夫(河野 明夫)

他にも...
●微積分ぐんぐん【理系積分101】-基本編
●東大対策文系数学 ●京大対策理系数学
●国立大医学部対策数学 ●中高一貫数学Ⅰ
●大学の数学 - 大学初等数学講座 - 基礎解析 など

▶高速マスター講座 基礎力養成「数学計算演習」

高速マスター講座 基礎力養成の「数学計算演習」は、数学の各範囲の基礎的な計算力を養成する講座です。時間的負担をかけて計算演習に取り組むトレーニングの他、チェックテストで計算力の定着を図ることが出来ます。計算力の弱点を業早く発見し、集中的なトレーニングでそれらを克服します。さらに上級編では、ハイレベルな問題によるトレーニングとチェックテストにより、さらに計算力を高めます。上級編の問題は、高校教科書の章末問題レベルが中心です。



中学からの前倒し学習 高1で数Ⅲまで修了!

東進だけのスーパースピード学習カリキュラム

数学は、大学入試で最も差がつく科目です。また、数学を学ぶことで身につく論理的思考力は、これからの社会を生き抜く力になります。大学受験のためにも、そして将来のためにも、数学を学ぶことは重要です。

そのため東進では、意欲ある2018年度の中3生・中2生を対象に、**高校数学を高1で修了する「数学特待制度」**を設置しています。成績基準を満たせば、特待生として数学の講座を無料で受講できます。授業を担当するのは、東進の實力講師陣。本質から理解できる授業で、**数学の楽しさ・奥深さ**をより実感できるはずです。

この制度を活用して前倒し学習を進めれば、高1で数Ⅲまで修了できます。今から圧倒的な数学力を身につけ、**2020年度からの新・大学入試**にも大きな自信をもって臨みましょう。

「数学特待制度」 成績基準

※右記のいずれかを満たす生徒

- 1) 通知表(通信簿)の直近の評価で
数学が5段階評価の「5」であること
- 2) 「全国統一中学生テスト」もしくは
その他模試にて、成績優秀であること

必要な
数学講座を
すべて**無料**で
受講可!

東進ハイスクール 東進(勸学)予備校

東進
LINE
Twitter
Facebook

東進公式 LINE Twitter Facebook

東進公式 LINE Twitter Facebook

東進公式 LINE Twitter Facebook

東進公式 LINE Twitter Facebook

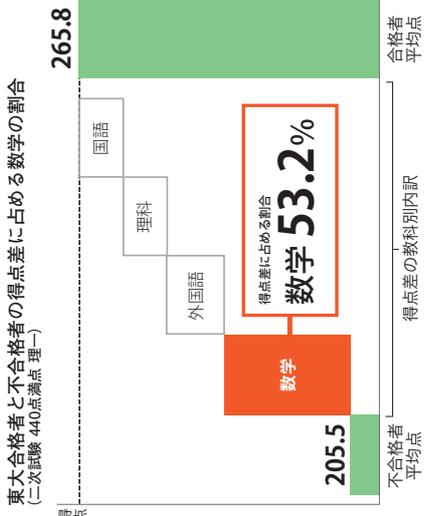
東進公式 LINE Twitter Facebook

東進公式 LINE Twitter Facebook

東進公式 LINE Twitter Facebook

数学の楽しさを知り、早期に数Ⅲまで修了する「数学特待制度」

事実！ 大学入試で差がつくのは数学。



▶理系の得点差の5割が数学！

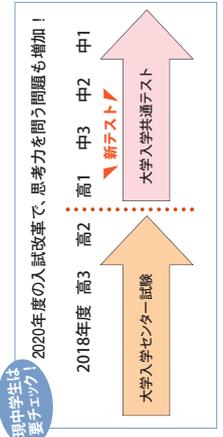
理系	合格者平均点	不合格者平均点	得点差	数学が占める割合
理一	265.8	205.5	60.3	53.2%
理二	251.5	190.4	61.1	40.8%
理三	318.4	258.7	59.7	59.1%

※文系でも得点差の3割を数学が占める (東進調べ)

東大、難関国立では 数学が合否を分ける

学力と合否の関係を調べた東進の調査で、数学の重要性が明らかになりました。左の図表をご覧ください。東大入試(理系)において、合格者と不合格者の得点差が最も大きいのは「数学」でした。東大文系や難関国立などにおいても、同様の傾向が見られます。

高校数学にはⅠ・A、Ⅱ・B、Ⅲがあり、理系で見ると東大をはじめとする旧七帝大ほど数Ⅲの出題が多くなります。また、数Ⅲの多い文系では、難関大ほどⅡ・Bの出題が多い傾向があります。Ⅰ→Ⅱ→Ⅲにはつながりがあり、難関大ほど体系的な内容が出題され、十分な準備や学習が必要であることがわかります。



東進の 実力講師陣の授業。

学びの本質に迫る授業で、数学がより楽しく

東進の講師は、何万人もの受験生を志望校合格へ導いてきたエキスパートぞろい。つまずきやすいポイントやその攻め方を熟知しているため、授業のわかりやすさは折り紙つき。表面的な知識や小手先のテクニックに留まらず、「なぜ、そうなるのか」「どう考えればよいのか」にことごとくこだわった授業は本物の思考力を養います。

数学では、「新たなアプローチを知ることができた」「難しい問題や初めに見る問題でも解法が導けるようになった」数学における基礎基本とは何なのか、本質から学べたい」と難関大合格者からも圧倒的な支持を得ています。



中学からスタートした 先輩の声

東京大学 理科3類
武田 悠人くん
● 徳島県 私立 徳島文理高校卒

中学からの努力の蓄積で 最難関大学に合格

医師になることが夢だった僕は、目指すなら最難関、東野大を理科3類を目標に、中学の頃からひたすら先取り学習をしてきました。中学の間に数学は高校範囲である数Ⅲまで、英語は大学入試に最低限必要な文法などを確実に身につけることを目標に勉強し勉強をしていました。高1になると、常に自覚がある状態を作するために、模試を多く受験しました。受験1年前の「東大入試同日体験受験」では理科3類の合格最低点を超え、大きな自信になりました。

東進の実力講師陣 (抜粋)

市田 晶先生 SHIDA AKIRA
数学科実力講師は、わかりやすさを徹底的に追求する。

大古 巧篤先生 OHYOSHI TAKUMA
教科書レベルから「わかる」喜びを教えます。数学の救世主が君のために！

長岡 恭史先生 NAGAKA YASUHIKI
受講者からは理科3類を含む東大や国立医学部など超難関大合格者が輩出。

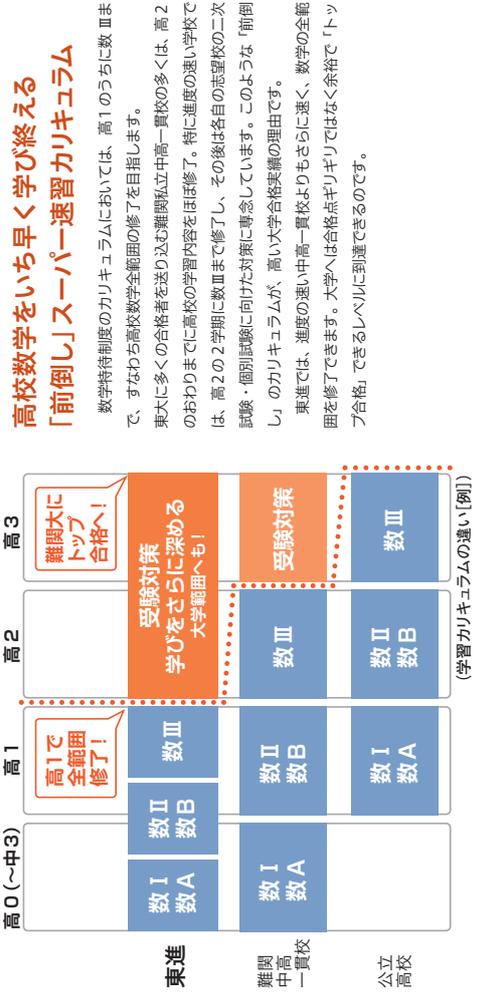
高1のうちに数Ⅲまで修了するカリキュラム例

学年	月	科目	単元	内容
中3	4月	数Ⅰ	数と式	数Ⅰから数Ⅲまでの高校数学の各分野の内容理解を深めるための計算方法について学ぶ。具体的に数式の展開、因数分解、不等式など。
	5月	数Ⅰ	集合と論理	数学を学んで行く上で重要な集合の考え方や命題について学ぶ。
	6月	数Ⅰ	2次関数	2次関数とそのグラフから、2次関数の最大・最小、および2次関数と2次方程式の対応について学ぶ。
	7月	数Ⅰ	図形と計量	角度を辺の長さの比(三角比)で表現し、これを利用して三角形の辺の長さや角度などを求める図形の前章の学習方法について学ぶ。
	8月	数Ⅰ	データの分析	データを7つのグラフから、分散図表などに落とし込み、データのばらつきや傾向などを求める図形の前章の学習方法について学ぶ。
	9月	数Ⅱ	場合の数	場合の数の意味を理解し、場合の数をベースにした確率の求め方について学ぶ。また、独立な試行の確率や条件付き確率の考え方を学ぶ。
	10月	数Ⅱ	確率	確率、毎日の確率、ユーティリティと期待値の考え方、最善法など、身近な確率に対するさまざまな考え方を学ぶ。
	11月	数Ⅱ	整数の性質	中学校で学んだ三角形や円の性質をさらに掘り下げて、さまざまな図形の性質について学ぶ。
	12月	数Ⅱ	方程式・式と証明	整式の割り算とそこから導かれる剰余の定理、因数定理など、様々な式の扱い方について学ぶ。また、数の性質を「数論」から「確率」へと拡張する。
	1月	数Ⅱ	図形と方程式	図形と方程式の関係を理解し、問題をベースにした確率の求め方について学ぶ。方程式を図形で見ると理解しやすくなる。
高1	1月	数Ⅱ	三角関数	数学Ⅱで学んだ三角比を、関数の観点から拡張し、より広く応用していくことを学ぶ。また、加法定理を学ぶことで、三角関数の間に成り立つ関係式を系統的に多く導けるようになる。
	2月	数Ⅱ	指数・対数関数	数値の増減や変化の速さを表すこと、関数の全体像をつかむ個々にあつた基礎的な考え方を学ぶ。
	3月	数Ⅱ	微分法	関数の変化の割合の増減を導くこと、関数の全体像をつかむ個々にあつた基礎的な考え方を学ぶ。
	4月	数Ⅱ	積分法	積分の逆算を導く「積分」の考え方、また、積分と面積の関係から導かれた積分法について学ぶ。
	5月	数Ⅱ	数列	数列の並びから法則性を見出し、式で表わすことや、和を求めることを学ぶ。また、並んだ数同士の関係を漸化式で表わしたり、強力な証明方法の数学的帰納法などについて学ぶ。
	6月	数Ⅱ	ベクトル	大きさや向きにより定まる「ベクトル」を利用し、図形の性質を計算によって導くことを学ぶ。
	7月	数Ⅲ	複素数平面	ド・モアivreの定理など、複素数に関する計算、および図形の性質を計算によって導く方法について学ぶ。
	8月	数Ⅲ	平面上の曲線	直線、楕円、双曲線などの2次元図形の性質、媒介変数表示や面積などを図形上の点の表裏法について学ぶ。
	9月	数Ⅲ	極限	数列や関数がある値に近づく様子、限りなく大きく小さくなる様子などを導くための考え方について学ぶ。
	10月	数Ⅲ	微分法の基本・応用	三角関数や指数・対数関数など多くの関数の微分の計算を行い、グラフの凹凸とより精密な部分や極値の求め方を学ぶ。
11月	数Ⅲ	積分法の基本・応用	微分と同様多くの関数の積分の計算方法を学び、面積や体積の計算を行ったり、他に比したものを定積分を用いて導くという本家の積分法を学ぶことについて学ぶ。	

上記は一例です。高1の1学期までにひと通り修了してひと通り履修し、発展に人のがさらにあふれます！

高1のうちに数Ⅲまで修了。

目指せ



(学習カリキュラムの違い【例】)